

青森からお届けします！



大寒が過ぎ最高気温が-1℃と厳しい季節を迎えています。りんごの木はもう、寒さから身を守ろうと地上部の枝の水分を地下の根に下げています。そうすることによって、りんごの枝や花芽は-12℃まで耐えることができるんです!!

春に元気な花を咲かせるために、今はゆっくり眠る大切な時期です。

りんご畑は春夏秋冬それぞれの景色があります。今は一面真っ白な白銀の世界です。

雪は溶けると土に染み込むので、ミネラル豊富な土壌になります。美味しいりんごに育つため、雪も必要不可欠です!!

りんご整枝剪定競技会

弘前市は山も街も雪に覆われて、りんご農家は剪定作業の真っ最中のこの頃です。

そんな中、弘前市が開催している「りんご整枝剪定競技会」に参加してきました。

栽培経験5年以上の人が参加できる大会です。自分は栽培8年目ということもあり、参加してきました。結果は入賞できずだったのですが、初めてのこういった大会に参加してとってもいい刺激になりました。

ちなみにみなさんりんごの木の枝一つ一つに名前がついているって知っていますか？インターネットで(りんご 木 枝 種類)とぜひ検索してみてください(^^) / 原子



お客様にりんごをお送りする際に「りんごの花のつぼみ」が付いた枝をプレゼントしています。

そのためにりんご畑では剪定作業と並行しながら、プレゼント用に使う枝を雪と闘いながら黙々と集めています。

全ての枝に花が咲くわけではありません。花が咲きそうな芽の枝を、畑で選んでいます。枝先にちょうど良い花芽を見つけるとちょっと嬉しくなります。宝探しの如く楽しんで枝集めしています。



久米



マメコバチのマユ取り

天気が悪く、剪定にいけない日は、春に受粉を手伝ってもらうマメコバチのマユ取りをしています。マユはアシガヤという植物の茎の中に入っています。

アシガヤはストローのようになっていて、力をいけなくても簡単に割ることができマユを取り出せます。

園地によって、マユの量が「わんつか」だったり、「よげ」だったり毎年違います。

なぜ入っている量が違うのかは分からないので、今年は天気や気温などを調べてみようと思います。

佐藤

※津軽弁で「わんつか」・・・少し「よげ」・・・多いの意味



青森りんご産地直送

大湯ファーム

〒036-8124 青森県弘前市石川字石川64
TEL : 0172-49-7890
FAX : 0172-55-0257

メール : info@ooyufarm.com
ホームページ : <http://ooyufarm.com>